

三本槍岳山行報告

【山行日】2023年 8月 27(日) 晴れ時々雨
【集 合】栃木市運動公園P AM 5:00
【費 用】マイカー2台 : 3,200円
【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:関 飯口、
飯野、植竹、大塚、鈴木ミ、福島、藤原フ
【コースタイム】栃木市運動公園P5:00＝鏡沢橋
手前 P7:05/7:20～鏡ヶ沼分岐 7:40～鏡ヶ沼
8:30/8:40～須立山 9:20/9:30～三本槍岳
10:35/10:50～大峠 12:10/12:40～鏡沢橋手前P
13:30/13:45＝道の駅「しもごう」14:00/14:15＝
栃木市運動公園P16:05



三本槍岳に福島県側から登りたいとのリクエストがあり、下郷町から鏡ヶ池経由で大峠に下る周回コースを計画した。車2台に分乗し栃木市運動公園を5時に出発し、東北道を北上して白河ICで降り



国道289号線を通って大峠に向かった。道の駅「しもごう」に寄ってトイレを済ませ、ヨロイ沢橋の手前の駐車スペースに車を止める。出発の準備を整えて、ストレッチを行い出発する。林道は大峠に向かって進み、林道終点から標識に従って左に進み鏡ヶ池に向かう。カラマツ林の中を緩やかに登り、1時間程登ると明るく開け鏡ヶ沼の畔に出る。青く澄んだ沼の畔を歩いて行くが、とても爽やかで気持ちが良い。沼を半周すると右に急坂を登るようになり、灌木帯の笹藪の中口

ープを頼りに登って行く。急坂を30分程格闘し主稜線に出ると視界が開け、目指す三本槍岳が南側に緩やかな山容を広げている。小休止後北側の須立山に向かい、展望が良い稜線を進む。

15分程で須立山山頂に着き、狭いが展望は抜群に良い山頂である。小休止し展望を楽しみながら、冷たいゼリーや菓子をいただく。ここから来た道に戻り、鏡ヶ沼分岐を直進して三本槍岳に向かう。展望が良い稜線は気持ち良く歩け、ガスが出て来たが晴れると展望が素晴らしい。峠の茶屋から三本槍岳へのコースは荒々しい火山の風景だが、裏那須からのコースは深い緑に覆われた山々が連なり、緑豊かな景色が広がっている。ルンルン気分で歩いていたら、突然大粒の雨が落ちて来て急いでレインウエアーを着ける。雨は10分くらいで止み、明るくなったのでレインウエアーを脱いだ。ガスが掛かったり晴れたりを繰り返し、晴れると緑豊かな景色が美しい。



やがて大峠からの道と合流し、直進して15分程登ると三本槍岳に着く。大勢の登山者で賑わっており、



山頂標識での写真は順番待ち状態だった。順番を待って記念撮影をして、山頂の一角で休憩しプリンや菓子をいただく。皆さんは山頂からの展望を楽しみ、スマホでお互いに記念写真を撮り合っていた。展望を楽しんだら下山開始し、往路を大峠分岐まで戻る。分岐を左に下って行くと、右手には鏡ヶ沼が見え左手は一面の笹原が熊見曾根まで続いている。さらに正面には流石山、大倉山、三倉山の県境稜線が伸びていて素晴らしい。雄大な景色

を楽しみながらルンルン気分で下って行くと、にわかには空が暗くなり雨が降り出した。小ピークの岩場でレインウエアーを着て、下り始めると雨は直ぐに止んだがレインウエアーを乾かすためにしばらくそのまま歩く。左手の笹原の向こうに沼原の貯水池が見え、「エ～沼原も見えるんだ！」と驚いていた。結構アップダウンがあり大きな段差が連続するが、木の根や岩に掴まりながら慎重に下って行く。ようやく鞍部まで下り、ここが大峠で標識や石祠が置かれている。



ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り美味しくいただいた。ランチが済んだら下山開始し、北側の登山道を緩やかに下って行く。やがて石畳の道が現れ、かつての藩政時代には往来が盛んだったことを偲ばせる。しばらく進むと林道終点に出て、ここからは未舗装の林道を歩き

駐車場に戻った。靴を履き替えたら車に乗り、道の駅「しもごう」に寄ってトイレと買い物を済ませ帰路につく。白川ICから東北道に入り、無事栃木市運動公園に帰着した。

